義務教育学校
曽爾小中学校だより

令和６年(2024)１２月
編集発行責任者　平松　康明

学校教育目標
「心豊かでたくましく、自ら学ぶ意欲をもち、ふるさとを大切にする子どもの育成」

あなたにとって、この１年はどんな年でしたか

12 月に入り気温が低くなる中、山が雪で白くなる日が増えてきました。多くの行事があった 2 学期も終業式を迎え、24 日から冬休みに入ります。
さて、みなさんにとってこの１年はどんな年だったでしょうか。
これまでみなさんは、勉強に運動にといろいろなことに取り組んでくれたと思います。今年もあとわずかですが、この機会に「今年１年で自分はどんなことができるようになったんだろう？」と、自分ができたことやできなかったことについて振り返ってみてはどうでしょうか。そして来年２０２５年はこんなことをしてみたい！と目標を考えてみるといいですね。

体調管理をしっかりしましょう

冬休みは短い間に、クリスマスやお正月など楽しいイベントがたくさんあります。もしかすると、夜遅くまで起きていることもあるかもしれませんが、くれぐれも体調をくずさないように注意しましょう。特に 9 年生は大切な時期です。「食事」「運動」「睡眠」「メンタル」「環境」それぞれの面について、体調を自分自身で管理するという意識をもってほしいと思います。

避難訓練を行いました

12 月 10 日（火曜日）家庭科室から火が出たという想定で避難訓練を行いました。火災発生を知らせる非常ベルの音で避難準備に入り、出火元の確認・避難開始の放送を聞いて、運動場に避難をしました。全員の避難を確認後、今回の訓練は素早く動けたこと、避難時の約束事「お・は・し・も」について、そして、ふだん先生や友だちの話をしっかり聞くことが大切などの話をしました。災害はいつ、どこで起こるかわからないからこそ、いざというときにどう行動すればよいか、訓練を通して「命を守る行動」を理解しておきましょう。

人権作文発表会

12 月 12 日（木曜日）各学年の代表者が人権作文を発表してくれました。
それぞれの作文の内容からは、ご家族を大切に思う気持ちや人に親切にしたいという思い、戦争や虐待、いじめなど今社会で起こっていることをどうにかしたいという思いが綴られていました。
身近な生活の中で、人権について気付いたことや感じたことなどをとおして、今後も人権を大切にしようという思いを持ち続けてほしいと思います。

ごみ拾いウォーキング

12 月 12 日（木曜日）後期課程の生徒が地域のごみ拾いを行いました。
寒い中、生徒が火箸やごみ袋を持ち、３ つの班に分かれて学校周辺の地域へ出かけました。道ばたや水路のごみを拾い集めると、袋３つ分になりました。

薬物乱用防止教室

12 月 17 日（火曜日）６年生で「お薬教室」９年生で「薬物乱用防止教室」を行いました。ゲストティーチャーとして学校薬剤師の菊山さんと曽爾駐在所の橋本さんに来ていただきました。子どもたちは、薬の種類や特徴、使い方によっては身体に悪影響を及ぼすこと、禁止されている薬物等について学びました。

三学期の始業式は１月７日（火曜日）です。みなさんの元気な笑顔を見られることを楽しみにしています。